

第314回薬事委員会報告

日 時 令和8年 2月 4日 (木) 15:00~15:30

場 所 病院会議室A

出席者 堀、高松、川浪、今福、津川、戸川、長谷川、諸藤、神村、池内

欠席者 三宅、小松

議 事

I. 新規採用医薬品

	適否	製品名	削除医薬品
1	適	アブストラル舌下錠 100 μ g	イーフェンバッカル錠50 μ g
2	適	アブストラル舌下錠 200 μ g	イーフェンバッカル錠 100 μ g
3	適	メサペイン錠 5mg	イーフェンバッカル錠 200 μ g
4	適	ドルミカムシロップ 2mg/mL	イーフェンバッカル錠 400 μ g
5	適	アネレム静注用 20mg	ネクサバール錠 200mg
6	適	ウパシタ静注透析用 25 μ g シリンジ	パーサビブ静注透析用シリンジ 10mg
7	適	アウイクリ注 フレックスタッチ 総量 700 単位	アウイクリ注 フレックスタッチ 総量 300 単位
8	適	デュピクセント皮下注 200mg ペン	デュピクセント皮下注 200mg シリンジ

削除医薬品が先発品の場合は、削除決定後自動的に院外専用医薬品となる（一般名処方薬がある場合は除く）

II. 後発医薬品 (GE) への切替

該当なし

III. 試薬・製剤原料等

該当なし

IV. 新規院内特殊製剤

該当なし

V. 臨時購入医薬品 (院内専用 患者限定)

新規購入品目 (令和7年11月7日~令和8年1月9日)

	製品名	申請科	申請理由
1	プレバイミス錠 240mg	呼吸器・乳腺・小児外科	脳死左片肺移植後
2	イブトロジーカプセル 200mg	呼吸器内科	ROS1 融合遺伝子陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌
3	タフィンラーカプセル 75mg	呼吸器内科	肺腺癌
4	メキニスト錠 2mg	呼吸器内科	肺癌
5	ラズクルーズ錠 80mg	呼吸器内科	肺腺癌
6	エジャイモ点滴静注 1.1g	腫瘍・血液・感染症内科	寒冷凝集素症
7	ノボセブン HI 静注用 5mg シリンジ	腫瘍・血液・感染症内科	後天性血友病 A
8	ピロイ点滴静注用 300mg	消化器外科	胃癌
9	ドプテレット錠 20mg	消化器内科	血小板減少症
10	トレムフィア皮下注 200mg ペン	消化器内科	クローン病
11	リマチル錠 100mg	精神神経科	関節リウマチ
12	ウゴービ皮下注 2.4mg ペン 9.6MD	内分泌・糖尿病内科	高度肥満症
13	クリースビータ皮下注 20mg シリンジ 30mg シリンジ	内分泌・糖尿病内科	FGF23 関連低リン血症性くる病・骨軟化症
14	ラジカット内用懸濁液 2.1%	脳神経内科	ALS

VI. 院外専用医薬品 (令和8年1月9日時点)

アウイクリ注 フレックスタッチ 総量 700 単位	ストレンジック皮下注 40mg/1mL	ストレンジック皮下注 80mg/0.8mL
ボルズィ錠 2.5mg	ボルズィ錠 5mg	ボルズィ錠 10mg

VII. 販売名変更

該当なし

VIII. 販売中止

(販売中止とそれに伴う切替採用申請)

	販売中止となる採用薬	販売中止予定時期	切替採用薬
1	※マグセント注シリンジ 40mL	2026 年 9 月	-
2	ヘパリン類似物質外用泡状スプレー0.3%「日本臓器」	2026 年 02 月	-
3	エトボシド点滴静注液 100mg 「サンド」	2026 年 12 月 (在庫消尽予定時期)	ラステット注 100 mg
4	ブラダロン®錠 200mg	2026 年 12 月	セルニルトン錠 プロピペリン塩酸塩錠 10mg 等

※ マグセント注シリンジ 40mL の代替薬は、同一作用機序のマグセント注 100mL となる。

IX. 供給遅延・供給停止等のお知らせ

(供給遅延・供給停止等とそれに伴う切替採用申請)

	供給遅延・供給停止となる採用薬	一般名	薬効	切替採用薬
1	オザグレル Na 点滴静注 80mg バッグ「タカタ」	オザグレルナトリウム	トロンボキサン合成酵素阻害剤	-
2	ジェイゾロフト錠 OD 錠 25 mg	セルトラリン塩酸塩	選択的セロトニン再取り込み阻害剤	セルトラリン OD 錠 25mg 「アメル」
	ブコラム®口腔用液 7.5mg	ミダゾラム口腔用液	抗けいれん剤	-
	アルブミンベアリング 20%静注 10g/50mL	人血清アルブミン	血漿分画製剤	献血アルブミン 20%静注 10g/50mL 「タケダ」
	※ 献血グロベニン-I 静注用 2500mg、5000mg	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン G	静注用人免疫グロブリン製剤	-

※ 献血グロベニン-I 静注用の代替薬を使用する際は適応を確認した上で、他のグロブリン製剤を使用

X. 副作用報告

2025 年 11 月～12 月の副作用報告件数は 22 件であり、そのうち非重篤なものは 21 件、重篤なものは 2 件（下記記載）であった。

副作用発現日	年齢	性別	被疑薬	症状	転帰	報告者	PMDA 副作用報告
2025/11/07	52	女性	キイトルーダ点滴静注 パクリタキセル注 カルボプラチン点滴静注	中毒性表皮壊死症	軽快※	薬剤師	有
2025/12/23	38	女性	マグセント注	低カルシウム血症	軽快※	薬剤師	有
2025/12/26	73	女性	ウブレチド錠 5mg	下痢 コリンエステラーゼ低下	軽快※	薬剤師	有

※医療用語では明確な定義はないが、広辞苑によれば回復は健康状態に戻ることを、軽快は病気が少しよくなることを意味する。

XI. 同種同効薬：採用医薬品の適正化

フォーミュラリ 経口酸分泌抑制剤 (PPI・P-CAB) (資料 1)

XII. その他

1. 1. 使用量低頻度医薬品の院内削除について

デフェラシロクス顆粒分包 360 mg「サンド」	オレンシア皮下注 125 mgシリンジ/1mL	スーテントカプセル 12.5 mg
ゼブリオン TRI 水懸筋注 263mg シリンジ	ゼブリオン TRI 水懸筋注 350mg シリンジ	インヴェガ錠 9 mg
マーデュオックス軟膏 10g	3%ポリドカスクレロール注 2mL/A	アルギ U 配合顆粒
タナドーパ 75%顆粒	クリアクター静注 80 万 IU/瓶	リバスチグミンテープ 18mg
アルギ U 点滴静注 20g/200mL/袋	アレセンサカプセル 150 mg	ローブレナ錠 100 mg

2. 適応外・禁忌医薬品使用に係る申請（2025年11月～12月）

		申請科	薬品名	使用目的	倫理委員会審議の必要性
1～20	適応外	心臓血管外科	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g	縦隔炎予防のため閉胸時にペースト状にして塗布	なし(薬事委員会)
21～22	適応外	産婦人科	ニフェジピン CR10mg/20mg/40mg	切迫早産	なし(薬事委員会)
23	適応外	小児科	コララン錠 2.5mg	体位性頻脈症候群	あり
24～25	適応外	消化器内科	カルベジロール錠 1.25mg	門脈圧亢進症	なし(薬事委員会)
26	適応外	救急科	バクトラミン注	Stenotrophomonas maltophilia 菌血症	なし(薬事委員会)
27	適応外	消化器外科	コレバインミニ 83%	胆汁性下痢（下痢症）	なし(薬事委員会)
28	適応外	消化器外科	オクトレオチド酢酸塩皮下注 100μg	術後リンパ漏	なし(薬事委員会)
29	適応外	整形外科	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g	左化膿性肩関節炎再燃	なし(薬事委員会)
30	適応外	形成外科	ゲンタマイシン硫酸塩注	右乳房インプラント感染	あり
31	適応外	整形外科	リファンピシムカプセル 150mg	胸椎後方固定術後の術後感染	なし(薬事委員会)
32	適応外	形成外科	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g	右乳房再建術後、組織拡張器感染	あり

3. 薬事ニュースNo. 115（資料2）

4. 後発医薬品使用体制加算について

2022年4月以降の後発医薬品の割合は90%以上、カットオフ値50%以上である。

後発医薬品使用体制加算1（47点→87点：入院期間中1回に限り、入院初日に算定）の取得継続が可能となった。

今後も、現状を維持すべく後発医薬品の使用を推進していく。

	10月	11月	12月
全医薬品の規格単位数量 ①	657,593	583,349	693,938
後発医薬品あり先発医薬品及び後発医薬品の規格単位数量 ②	274,990	247,547	295,363
後発医薬品の規格単位数量 ③	256,584	235,344	280,649
カットオフ値の割合 ②/①	53.9% ^{※1}	54.1% ^{※1}	54.3% ^{※1}
後発医薬品の割合 ③/②	95.1%	95.1%	95.2%

※1 令和7年度薬価改定を踏まえた診療報酬上の臨時的な取扱いでの数値

5. バイオ後続品使用体制加算について

令和6年度診療報酬で新設され、(1)直近1年間の使用回数が100回以上かつ、(2)≥80%、(3)≥50%でバイオ後続品使用体制加算（バイオ医薬品を使用する患者について入院初日に100点）の取得が可能となった。(1)については、年間使用回数が100回以上であることを確認した。

	置き換え割合80%以上	置き換え割合50%以上
バイオ医薬品の内、バイオ後続品の規格単位数量の合計 ①	1,543	6,420
バイオ医薬品の規格単位数量の合計 ②	1,551	8,027
① / ②	(1) 99.5%	(2) 80.0%
	(イ) エポエチン (ロ) リツキシマブ (ハ) トラスツズマブ (ニ) テリパラチド	(イ) ソマトロピン (ロ) インフリキシマブ (ハ) エタネルセプト (二) アガルシダーゼベータ (ホ) ベバシズマブ (ヘ) インスリンリスプロ (ト) インスリンアスパルト (チ) アダリムマブ (リ) ラニビズマブ

6. 院内廃棄薬について

2025年11月と12月における院内廃棄薬の総金額は、150,950円であった。上位品目は、フルミスト点鼻液（45,000円）、ロイナーゼ注用5000（29,100円）、ブコラム口腔用液2.5mg（11,821円）であった。廃棄理由はすべて期限切れであった。

7. その他

2026年1月19日現在の総採用品目数は2,538品目であり、うち後発医薬品は548品目（21.6%）である。

次回薬事委員会は、令和8年4月1日（水）15時より病院会議室Aで行う。